

第5回 防府市庁舎建設基本構想・基本計画検討委員会 会議録要旨

開催日時 平成28年4月26日（火） 午後6時から午後7時30分まで

開催場所 防府市役所1号館3階南北会議室

出席者 【委員】 鳩委員（委員長）、福田委員、青木委員、大村委員、岡本委員、喜多村委員、脇委員代理 梅本氏、田内委員、藤本委員、広石委員、山野委員、田中委員、長峯委員、水田委員、河島委員

欠席者 古田委員（副委員長）

【事務局】 藤津総務部長、熊野総務部次長、石丸総務部次長兼庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、本間庁舎建設室次長補佐兼建設推進係長、沼田庁舎建設室建設推進係主任

【基本構想・基本計画策定支援業務受注者】(株)日本設計 唐崎主管

概要（発言要旨の文章は簡略化している。）

1 開 会

○新委員の紹介

防府市社会福祉協議会より藤本委員が新任。

○前回のまとめ

委員長から前回の協議内容についてまとめ。

2 議 事

(1) 建設候補地の選定について

①建設候補地について(まちづくり)

- ・ 資料1により説明

【質疑・意見等】

委員

少子高齢化で人口も維持をしていくのが精一杯という状況の下、駅周辺を南北につなぐ道路を整備し、まちなかへの居住や、いわゆるコンパクトシティというものを実現していく必要がある。市庁舎の建替えもコンパクトシティの中のまちとしての要素だろうというふうに考えている。

また、市庁舎が出来ることによって、これからのまちづくり、コンパクトシティの形成という点で民間活力や経済効果などに期待したい。

これまで区画整理や再開発などのいろいろな事業が進められたが、これで完成というまでには至っていないので、市庁舎の建替えに取り組むことによって相乗効果がでてくるのではないかと考えている。

そこに未来像というか、夢とかロマンとかも含めて新しいまちづくりができればいいなど。そういったことから、私としては駅北にと考えている。

- 委員 資料を見ていると防府のまちが寂れてきたということが良く分かる。庁舎を整備するにあたって二つの視点があるが、一点は市役所は工場などを別にすれば、防府最大の事業所であり、600人からの職員を抱えた事業所を市の中心部に移転することは、市の活性化にとっての重要な要素となるということ。現在の場所では、車で来て車で帰るため、市役所が周辺に及ぼす活性化の影響はあまりない。市庁舎を駅北に移転して、民営の駐車場を借上げたりすれば人の動きが出てくる。人の動きというものができるとということが大事だと思う。
- もう一点は、市庁舎を基点として、いかに人を集めていくかということ。こういった視点からみると、市役所そのものが果たす役割というか、600人の職員のパワーというかそういったものを考慮していく必要もあるのではないかと思う。
- 委員 防府のまちづくりでは、これまでも人の流れが変わることを予測し、図書館をルルサスに移転したり、当初駅の南側に建設する予定であった地域交流センターを、人の流れを考慮して駅北に変更している。
- 建設場所が現庁舎位置となれば庁舎の建替えだけに終わるのではないか。昭和54年から始まってきた鉄道高架を中心としたまちづくりを、庁舎の建替え、駅北に移転することによって、防府のまちが大きく変わっていく可能性を含んでいく。そのことが先人が取り組んでこられた中心市街地のポイントをつけることになるのではないか。
- 委員長 今のお三方の意見を整理しますと、一つはコンパクトシティの観点から、庁舎の建替えが時流に合っているので、やるのであれば今、駅北でやるべきだということ。一つは評価として人の動きを作っていくような庁舎が必要だと。拠点性みたいなものをしっかり構築していくべきだと。また過去の事業の流れから考えて、現地での建て替えでは流れが切れてしまうというご発言であったと。
- 委員 私は小学校のときに防府市に住んでいて、県外に行って50年ぶりに帰ってきたが、帰る度に殺風景な風景を見て、防府のまちが沈下しているという印象を持っていた。この庁舎建設を機に活性化していけないといけないと思う。
- 防府の一番の顔は駅と市役所だと思う。これが一体となることによって活性化につながるのではないか。30年先、50年先を想定して、何が市の活性化になるかを検討すれば、駅と庁舎という二つの顔が一体となることが一番の近道ではないかと思う。
- 駅を中心に東西南北で活性化を見ると、駅の北西が一番沈下しているように見える。やはり駅の近くに庁舎を移転することが一番近道だと思う。
- また、方向性については、それぞれが論議してこの委員会として一致したひとつの見解にまとめることが大事だと思っている。
- 委員 所属している団体で先週末にイベントをしたが、これは商店街の活性化ということではなく、防府駅から天満宮までの人の流れをつくらうということで行った。コンパクトシティを目指すのであれば人の流れをつくることに大きな意味があり、起爆剤となりえると思うので、駅北に建設するほうが、まちづくりには相応しいと思う。
- 委員 今は駅の南側に住んでいるが、買い物はほとんど駅の南側で大型商業施設に行くか郊外のスーパーなどに行くかで北に行くことがなくなってきた。自家用車の移動率が高く、車でないと行けない買物というのが見えてきている。

駅北をどう開発していくかということになれば、人が回遊するまちづくりというのが一番だろうと思うと、やはりまちの顔になる市庁舎を駅北に移転することによって、人の流れがすごく変わってくるのではないかと。

昨日文化福祉会館から戎町に歩いたが、人と会ったのが5人ぐらいだった。庁舎が移転することによって、人の流れが変わるのではないかとこのことを歩きながら考えていた。

また、現庁舎敷地に庁舎を建替えるということになれば、バスを周遊させるなど高齢者や障害者のために交通の便を考えていかなくてはいけないと思う。今、既存の交通アクセスがバスにしても駅に集中しているということがあるので、そこから広がりを持っていくほうが良いのではないかと。思う。「巡る」まちづくりが大切なのではないかと思う。

委員 再開発事業として、ルルサスを鳴り物入りで造ったが、人通りも今そんなに多くないし、当初の目的を達してないのではないかと。思う。庁舎を駅北にして果たして人の流れが変わるのか、私はあまり期待できないのではないかと。思う。

委員 ルルサスが建って10年経つが、それで人の流れが変わったかという、疑問に思う。先ほど駅から天満宮という話があったが、駅北公有地からでは天満宮には行かないのでは。

商工会議所とか、まち、市、全体が一つになって頑張らなければ市庁舎を駅北に移転しても人の流れが変わらないのではないかと。

確かにまちづくりとしては夢があるかもしれないが、現庁舎敷地に人の流れができていくかという疑問もある。ルルサ스에図書館が移転して、利用者は増えているかもしれないが「来て帰る」状態。活性化とはイコールではないのではないかと。「まちづくりと庁舎」というと、駅北の方がどちらかという方向はそうだろうなという。夢、ロマンというところのほうかなと。

委員 夢とロマンで実現するとは全く思っていないで、もっと現実的にやっていないといけない。人の流れの問題は仰ったとおりであると思うが、まだ途上にあるからそういう風な状態になっているのではないかと。

これから経済効果、相乗効果を検討しながらそういう流れを作っていくかなければいけない。簡単ではないとは思いますが、官民挙げて、いろいろな人の努力で作り上げていかなければいけない。

山口県は中小都市分散構造でそれぞれの町がいろんな努力をしている。企業誘致や観光も都市間競争で、県内だけでなく、インバウンドも考えると、特色のあるまちをつくらなければ埋没してしまうのではないかと。駅前には賑わいとかいろいろな機能を持っていくことは県下でもひとつの特色あるまちになるのではないかと。思う。

観光で言うと天満宮も確かに離れているが、そこは流れを作っていくようなまちに、3年、5年、10年ではできないかもしれないが、(駅北に)場所が決まればそれぞれこうしようとか、そこに期待したい。

新しい中心市街地活性化基本計画を策定していくなかで、その計画の中に市庁舎移転というのが入ってくるかこないか、このインパクトはあると思う。そういうことも相まって弾みをつけていこうと。今でも人の流れが充分だと思わないが、放っておいたらもっと減るのではないかと。思う。ここで頑張らないと、という気がしている。

- 委員 私は、まちづくりについて、これをやったらできるというような万能薬はないと思っているが、先に委員が仰ったように、ひとつひとつ積み重ねていくことが将来30年、50年先に防府のまちづくりにつながっていくと考える。駅を中心とするコンパクトなまちづくりをしていくという中に、庁舎をもっていけば活性化あるいは繁栄していく原因をつくる、あるいは人の流れをつくっていくような原因を作っていくことになるのではないか。
それと平成26年、27年のJR防府駅の乗降客数について、どの程度のデータを持っているか。
- 事務局 詳細な数字はすぐに回答できないが、大体4,000人程度で推移していると認識している。
- 委員 そういうデータはしっかり把握しておくべきだと思う。
- 委員 事前配付資料を見て、もう駅北に決定なのかと感じた。先ほど委員長からまちづくりの視点から意見をということだったが、この委員会でこれまで評価ポイントが5つあったと思うが、あと4つについても同じようにメリット・デメリットの議論ができるのか。
- 委員長 評価項目の中で、両候補地で考え方が異なってくるのがまちづくりだろうということで今回はまちづくりと庁舎という観点で議論を行っていただいている。
- 委員 駅北に市庁舎が移転すれば、整備されることで駅を出てからのまちの景観もきれいになるというイメージはできるが、やはりそこでまちづくりになるかという、ハードに頼るよりはやはり人が動くことが重要だと考える。
市役所ができたからといって人が来るかという、やはり市民は目的がないとそこに行かないというのは散々議論してきたのではないと思う。また、防府市全体でまちづくりをみたときに中山間地域の人口が減少していく中で、交通システムがより充実していくのか疑問に感じており、駅北にいくとデメリットになるのではないかと考える。
耐震性の不足による庁舎建替えの必要性が一番最初のスタートなので、私としてはやはり防災を中心においた市役所を考えていくことができたかと思っている。いま熊本でも地震があるので、夢をみるよりは一日も早い庁舎建替えが先決ではないか。例えば今後地震がきて、来庁者や職員の方が庁舎が潰れてしまい亡くなられたりということもあり得るし、また熊本では実際に罹災証明書が出ない状況になったりということを経験地では聞いたりするので…。庁舎建設についてはまちづくりというキラキラしたイメージの中で議論はできないのではないかと考える。
- 委員 まちづくりという考えからのひとつの提案だが、まず駅の北側に市庁舎をつくり、駅から北に現在整備されている新しい県道を通って宮市に行き、宮市から天満宮、天満宮からアーケードそれから駅という回遊を念頭に、ここからまちづくりを市が積極的に考えていけば観光客も来るであろうし、居住する人の流れもであろうし、ある程度エリアを決めてまちをつくっていくというビジョンも必要なのではないかと思う。
なぜ都会でまちが盛んかという、その付近で勤める人が多いからであり地域そのものが持っている人が多いからで、防府はそもそも人が少ないわけだから来る人だけをどうしたら増やせるかといってもなかなか難しいと思う。冒頭で言うように600人という大事業所である市役所をやはりまちの中心に置き、流れを考えていくということがよいのではないか。

- 委員 交通の便ということを第一に考えると一極集中型だと思うが、まちを活性化するために一極集中すると却って弱体化というか、そこだけが中心になって周囲が…みたいな結果になるのではないか。
また、駅から市庁舎までは約600mで、東京の駅の大きさと大差ないくらいの距離しかない。南北道路は割と整備されているが、東西の市役所から水道局の方に入るところまでの道路整備が進んでいないので辺鄙なところのような感じに見えるのではないか。
活性化と特色あるまちづくりということであれば、桑山を公園として活かし、それに隣接した市庁舎を。駅からの通りは公共施設や事業所等も集中している。
二極主義がいいのか、一極主義がいいのか考えており、私自身でも結論は出ていない。
- 委員 まちづくりを活性化という視点で考えれば中心市街地活性化というような話だが、活性化とか繁栄といったことだけではまちづくりは考えられないかもしれない。防府は城下町ではないが、多くの歴史を持っており、防府は防府なりの魅力があると思う。長い目で見れば、空間的な風格、品格とかそういったものもまちづくり、都市づくりとしてはあるような気がする。
市庁舎が駅の近くにあるというところだけでなく、活性化するところは活性化している感じがする。
また、商業地というのは、商業地移動の法則のようなものがあって、防府は宮市、三田尻から駅北に変わって、それからこちらに変わってきた。今も商業地はある程度中心の市街地に集積しているが逆にまた郊外へもできている。そういう風にしていろいろ移動していくような中心市街地、中心商業地がずっとこのままあると考えるのは防府の歴史だけを考えてみてもなかなか確証たるものは持てない。むしろ他のところに防府のまちづくりを考える必要があるのではないか。
- 委員 まちの活性化のきっかけになると考えると駅北の方かと思う。ただ、デメリットとして、本当に活性化になるのか、大金を費やすだけではないのかという気もする。
また、図書館がルルサス（商業施設）と一緒にいるために図書館が子どもだけでは行ってはいけない区域になっているという例もあるので、商業施設と公共施設を一緒にするのも子どものいる親として少しひっかかる。そう考えると市役所の周りはみどりとか公園とか子どもが集まるものが近くにあった方が良くと思う。
どっちつかずだが、現庁舎の近くにはソラールや郷土資料館などがあるので、まちづくりや活性化とは反対方向だがそういう市庁舎も良いのではないかと思うし、一方で駅北の開発について夢のあるような話を聞くと駅北も良いかなとも思う。
- 委員 資料中の「まちづくりに向けて期待される市庁舎の役割」についてひとつひとつ考えたが、駅北の方が長い目で見ていろいろな条件を備えているような気がする。現在地だと特に高齢者にとっては交通の便がよくない。中浦線を見ると市役所経由が一日に二便、それも昼からだけで午前中は市役所経由のバスはない。防府駅までバスで出たら天気の良い日、季節の良いときはぶらぶら歩くことができるが、そうでないとタクシーを利用しないと難しい面がある。また、そのような方法で市役所に行けば高齢者は疲れたり周りのまちを歩いて散策してみようかという意欲も少なくなってくるのではないかと思う。駅の近くに市役所があるとすぐ行けるし、周りも少し歩いてみようかという意欲も出るのではないかと思う。

- 委員 車塚にあった市役所が現在地に移転した昭和29年頃はこの周りは本当に田んぼしかなく、農家が数件あるだけであったが、現在地に市役所が来たことによりいろいろな公共施設もここに集まってきた。駅北へ市役所が移転したからといって必ずしもまちづくりにプラスなとは言えないと思うが、今少し寂れている駅の北側が、なんとか活性化するのではないかという思いはする。現庁舎敷地に建設すれば仮庁舎に移っている間の何年かは市の職員も不自由な思いをするし、市民もあちこち不自由な思いもあるだろうと思う。そういう点から考えると新しい敷地に建設する方がそういった問題はない一方、駅北公有地エリアの用地買収をするには大変な苦労が予想され、その苦労を考えると現庁舎敷地に建替える方が簡単とも言える。そうした様々なことを考えると個人的には現在地に建てる方がいいのではないかという思いが強いと同時に、思い切って駅の北に庁舎移転した方がいいのかなという思いもあり、右でも左でもないといったところが今の思いである。
- 委員長 ひと通りご意見をいただき、今回は次回に向けて事務局案として方向性をまとめていただくベースとなる視点をみなさんにいただいた。
- かなり多くの点で人の動きを意識するということが指摘されたと同時に、ルルサスも含めて公共施設を考えたときに人の流れが生まれるのか、もしくは回遊するのか疑心暗鬼のようなものもご意見として多かったように思う。その辺りを踏まえた最終のまとめ方にしていきたい。
- それと拠点性について、ある程度ゾーンを決めて戦略的に回遊させるというようなご意見もあったので、そういったところも評価の視点になるのではないか。
- また、駅周辺については過去の事業の流れから考えればまだ完成形ではないので、庁舎の位置付けはその延長線上にというご指摘が一つ。一方でいろいろな手間、防災の面や用地買収といったことを考えれば現在地での建替えが一番いいのではないか。商業と公共施設が同じゾーンにあるよりは周辺にみどりが多い現庁舎敷地でそれを活かした庁舎のあり方も考えられるといったご意見もあった。
- 今回のまちづくりについてのご意見と合わせてこれまで5つの評価項目があったが、それも踏まえてさらに懇話会での意見、そういった内容をすべて踏まえ建設候補地のための評価項目の詳細、方向性、そういったものを次回ご提示いただきたい。
- 事務局 これまでもいろいろな視点から評価項目についてのご意見をいただけてきており、今回はまちづくりに関しての意見をいただいたところであるが、ここで評価項目ごとにどのようなご意見があったかということをもとに整理し、それからある程度の方向性に留意点を加えて、この辺りだったら全体としてこのような意見にまとめられるのではないかという結論を出してみたい。
- その後それに対しての課題や、将来にわたって努力すべきことなど一旦すべて出していただいて集約に向けて案を作っていくと思う。
- 委員長 原案はどちらか一方を候補地として委員会として提示するというのを踏まえて記述されるということで理解してよいか。
- 事務局 そのように考えている。5月の時点で事務局から原案を提示し、それまでに勉強会の日程がとれれば勉強会を開催してご意見をひと通りいただくという段取りで5月にはどちらか一方の原案を提示することとしたい。
- 委員 次の会議でどちらかを出すということか。もうこれでどちらかに決めてしまうということか。

- 事務局 今日までにいただいた意見を基に先ほど申し上げたような作業をしていく。意見の集約化が可能であればぜひ次回提示させていただきたいと考えている。
- 委員 他の委員から意見があったような防災に関する話はないのか。
- 事務局 これまでずいぶん防災関係についてもご意見をいただいているので一旦それでとりまとめさせていただきたい。
- 委員長 事務局の説明の流れで次回原案を事務局から出していただくということによろしいか。また、次回5月の委員会で事務局からの原案をみなさんの方で協議いただくということで進めさせていただきたい。
- 委員 異議なし

○次回開催日程について

第6回委員会は、5月24日に開催予定。勉強会の日程については調整する。